

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成30年度事業 点検・評価調査

4-I-4

4-I
-4

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	島内の港から各遺跡や観光スポットまでのアクセス方法の確認・整備
	節	I.アクセスルートの整備・来訪者の誘導等		
事業(施策)名	4 島内アクセス方法情報提供		事業主体	佐渡市観光振興課
	事業実施期間	H28～R4		関連団体 佐渡地域振興局地域整備部、佐渡市世界遺産推進課、佐渡市交通政策課、佐渡観光交流機構、佐渡汽船㈱、新潟交通佐渡㈱
事業概要	【事業目的】	○島内の港から各遺跡や観光スポットまでのアクセス方法の情報提供を行うことにより、来訪者の円滑な移動を図る。		
	【事業内容】	○島内の港から各遺跡や観光スポットまでのアクセス方法や運行状況、駐車場の混雑状況等について、船内アナウンス、インターネット等ICT活用、観光案内所での情報提供等により、情報機能の強化を図る。		
③0 事業計画と実績	【30年度計画】	<ul style="list-style-type: none"> ●観光総合パンフレット「佐渡さんぼ」を年1回60,000部作成し、島内におけるアクセス手段を掲載する。 ●「佐渡さんぼ」を佐渡汽船内や新潟、直江津港待合所に配置する。 ●佐渡観光ナビで島内のアクセス方法を案内し、スマートフォン等で容易に検索できるよう整備する。 		
	【30年度実績】	<ul style="list-style-type: none"> ●佐渡汽船や新潟交通佐渡、佐渡観光協会と連携し、佐渡さんぼに佐渡汽船航路ダイヤやレンタカー情報、バス路線情報を盛り込み60,000部作成した。 ●佐渡汽船内や待合室等、市内観光案内所、観光施設に「佐渡さんぼ」を配置した。 ●さど観光ナビにルート作成機能「さど旅色プラン」を実装した。 		
課題・今後の取組	【課題】	<ul style="list-style-type: none"> ■H31年4月の佐渡金銀山ガイド施設(きらりうむ佐渡)オープンに合わせて、相川までのアクセスルートに関する情報提供(周辺道路・駐車場の渋滞情報等)を充実する必要がある。 ■佐渡観光ナビでは、5言語(英語、韓国語、中国語<繁体・簡体>、ロシア語)とスマートフォン対応済みであるが、そのHPまでの誘導を行わなければならない。 ■県・市が整備する案内標識との連携・調整が必要である。 		
	【今後の取組】	<ul style="list-style-type: none"> ■インバウンド層に向けたさど観光ナビのPR。 ■県・市が整備する案内標識との連携・調整。 		
事業評価	【事業の達成度】	[a・ (b) ・c]	<ul style="list-style-type: none"> ■当初計画したとおり、アクセス方法の情報を佐渡さんぼや佐渡観光ナビを使って提供した。パンフレットは観光案内所や佐渡汽船待合施設に配置するなど対応した。 今後は引き続き情報更新に努めていく。 	
	【事業実施の効果】	[a・ (b) ・c]		
	【総合評価】	[A・ (B) ・C]		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。